

# 緒 言

最近は落ち着いてきたが、今年に入って間もない頃、「平成最後の〇〇」という言い方がしばしば聞かれた。それは本年5月1日に今上天皇の退位、皇太子の天皇即位に伴う改元が行われるからであり、一月前の4月1日には新元号が公表される予定である。改元前の新元号の発表ということ自体史上初めてであり、日本国内でどのような状況が起こるのか、注目される。

元号(年号)については種々議論のあるところだが、研究対象として考えた場合、魅力的な点が多々ある。古代中国をはじめとする東アジアの漢字文化圏で成立・普及したこの制度は、個々の国で政治的な意味合いを持ちながら変容を遂げるとともに、国と国との外交関係の中でも独自の使われ方をした。

元号誕生の地中国では前漢の武帝の時(B.C. 2世紀)から歴代王朝が用いたとされ、朝鮮半島では高句麗や新羅、そして渤海が独自の元号を使っていたものの、高麗や朝鮮王朝の時代には主に明朝など中国王朝の元号を使い、日本の植民地支配開始により途絶した。またベトナムでは10世紀から1945年まで独自の元号を使い、植民地時代を経て戦後の王政廃止で途絶した。

14世紀後半～17世紀前半の明朝を中心とする東アジアの国際関係においては、明の冊封体制の影響の違いにより、朝鮮王朝と同様、その影響の強い琉球王国では、独自の元号を持たず、他の国家・地域に対してすべて明の元号を使用した。それに対して日本は、室町幕府が明王朝の冊封を受ける前は日本年号、受けた後は明年号、足利義持の対明断交中は日本年号、外交関係復活後の無年号・干支のみといったように、日明関係の影響を強く受けている。

また、日本国内でも南北朝時代のように南朝・北朝といった巨大な政治勢力の抗争期においては、南朝年号・北朝年号、そして改元後の継続使用など、元号使用と政治状況は密接な関係を持つ。

さらに、天皇の専権事項とされる改元行為自体、実は中世後期以降、朝廷でなく武家勢力が強い権限を持っていたことが知られる。本来は、大臣が天皇の仰せにより文章博士らに2～3の候補を中国古典から選び上申させ、天皇が採択する手はずであったが、そこに幕府が、あるいは幕府に替わって朝廷に対して強い影響力を有した武家権力が公家上層部に圧力をかけて改元を強要することもあった。元龜年間(1570～1573)、足利義昭の画策した、いわゆる信長包囲網に苦しんだ織田信長が、元龜年号を「不吉」として忌み嫌い、義昭を都から追放した直後に「天正」(1573～1592)年号に変えさせたのはよく知られている。

改元(年号制定)は、一般的に即位・瑞祥<sup>ずいしょう</sup>・災異・干支<sup>えと</sup>(辛酉など)を理由に行われるが、その時代的特徴などを個別に分析することは重要である。また、為政者だけでなく、市井の人々にとって改元がどのように受け止められたのか、知りたいものである。ともかく、世界で唯一元号文化を残した日本で、「平成」に変わる新たな元号が登場するのは、もうまもなくである。

2019年3月

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設  
施設長 本 多 博 之



# 目 次

緒 言

岩国市中央図書館所蔵和装図書目録稿

一書名索引一……………妹尾好信…… 1

林原美術館蔵『射山百首和歌』翻刻

一式子・讃岐・小侍従・丹後・俊成・生蓮・寂蓮一

……………北原沙友里・原豊二・山崎桂子…… (13)

山口県文書館蔵「近藤芳樹日記」翻刻（十四）……………久保田啓一…… (1)

( ) は縦組で裏表紙から

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設研究紀要投稿・執筆要項

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設細則

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設運営委員および研究員（平成30年度）